

総合人文科学研究センター 活動報告

(2012年4月1日～2013年9月30日)

現代日本における「信頼社会」再構築のための総合的研究

2013年4月20日(土)

【主催】第1回「信頼社会」研究会

御子柴善之「信頼と人権」

山田真茂留「生活公共性の比較社会学」

2013年6月22日(土)

【主催】第2回「信頼社会」研究会

岡部耕典「『信頼社会』を超えて?——多様な生を棄損しない社会のありかたをめぐる試論——」

藤野京子「犯罪者や非行少年をめぐる信頼と不信」

早稲田大学比較文学研究室

2012年6月30日(土)

【主催】月例シンポジウム「聴きとる術——震災後の人文学」

堀内正規、御子柴善之、安藤文人、嶋崎尚子、鶴見太郎

2012年7月14日(土)

【主催】講演会「震える耳で読む——津波の後の人文学」

今福龍太、鶴飼哲

2012年9月13日(木)～14日(金)

【共催】国際ワークショップ「夏目漱石『明暗』の英訳を通して考える」

ジョン・ネイスン、早稲田大学大学院生

*〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所との共催

2012年10月13日(土)

【協賛】国際シンポジウム「記憶の痕跡(第3回)」

中島国彦「言葉を紡ぐ行為、言葉を消す行為——三善晃「レクイエム」は、反戦詩をどう音にしたか」

大川内夏樹「戦後における「郷土詩」の行方」

吉田安岐「断片としての記憶——金石範作品における物語手法」

千葉文夫「クリス・マルケルの日本」

三ツ堀広一郎「島尾敏雄の日記について」

イザベル・ラヴェル「昭和22年のロマンティズムの記憶——太宰治『メリイクリスマス』」

位田将司「横光利一『夜の靴』に内在する『欧州紀行』の痕跡について」

十重田裕一「変容する「神様」の記憶——横光利一の戦中から戦後」

柳井貴士「映画『ひめゆりの塔』をめぐる——「乙女」の断絶と「言葉」の回路」

ギョーム・ミュレール「ベストセラーから歴史資料まで——火野葦平の「兵隊三部作」

鳥羽耕史「廃兵と原爆——大田洋子に見る戦争の記憶」

アンヌ バヤール・坂井 「戦争を書く、書き足す、書き直す——開高健とベトナム」
ヴァンサン・マニゴ 「北脇昇——戦時下日本を映す」
大澤啓 「現代における戦後日本のパフォーマンス——美術館での記録保存と再演出をめぐる」
丹尾安典 「風流夢譚事件考」
ミカエル・リュッケン 「荒木経惟の『センチメンタルな旅 冬の旅』あるいは骨の再来」

*〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所、フランス国立東洋言語文化研究学院との共催

2012年10月25日(木)

【主催】月例研究発表会(第215回)

丹尾安典 「ポン・タヴェン派残党遺聞」
中島国彦 「一九一〇年前後の文学・美術・音楽の交響——木下杢太郎『南蛮寺門前』を手がかりに」

2013年1月12日(土)

【主催】月例研究発表会(第216回)「ロシア文学者 昇曙夢の業績」

初内裕子 「ツルゲーネフ移入における昇曙夢」
南平かおり 「昇曙夢と日本の児童文学——ソログープ作品の読者層の拡がり」

2013年1月25日(金)

【共催】シンポジウム「ネフスキーと言語——ニコライ・ネフスキー生誕120年に寄せて——」

塚本善也 「ネフスキーと台湾」
伊東一郎 「『アララギ』に掲載されたネフスキーのロシア民謡論」
吉増剛造 「不死の言語——ネフスキー」

*早稲田大学ロシア文学会との共催

2013年7月4日(木)

【主催】月例研究発表会(第217回)

ブルナ・ルカーシュ 「大正前期の日本文壇とゴーリキー
——相馬御風と吉江孤雁の評論、宮島資夫と宮地嘉六の創作を中心に——」

国際日本文学共同研究部門

2013年4月27日(土)

【主催】古典テキスト校訂分科会第1回研究会

竹本幹夫 「謡曲の本文校訂の歴史について」

2013年5月25日(土)

【主催】古典テキスト校訂分科会第2回研究会

岡崎由美 「中国古典戯曲校訂の概況」
冬木ひろみ 「シェイクスピアの本文校訂——シェイクスピア時代から現代まで」

2013年6月21日(金)

【共催】ワークショップ「原爆文学から原発文学へ」

村上陽子 「〈無数の嘆き〉について——大田洋子「ほたる」論」
柿谷浩一 「〈原発文学〉という視点——井上光晴を軸に」
ジョン・W・トリート 「原発は原爆に先行する——ひとりのアメリカ人の研究経歴」

* 〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所との共催

2013年6月29日(土)

【主催】古典テキスト校訂分科会第3回研究会

陣野英則 「平安時代物語文学の本文校訂——『源氏物語』と『うつほ物語』の場合——」
藤井明彦 「ドイツにおけるテキスト校訂の歴史と現状」

2013年7月20日(土)

【主催】古典テキスト校訂分科会第4回研究会

宮城徳也 「祝婚歌の伝統と悲劇」
黒岩卓 「十五・十六世紀のフランス語劇作品における韻文形式と作品伝承について」

2013年7月23日(火)

【後援】「〈ワークショップ『源氏物語』受容の現在〉スペイン語新訳『源氏物語』を聴く
——受容・翻訳・パフォーマンス——」

アリエル・スティラーマン、アナ・レカルデ、清水憲男

* 早稲田大学文学学術院陣野英則研究室主催

セルバンテス文化センター東京、国際交流基金、〈重点領域研究〉早稲田大学国際日本文学・文化研究所、
早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「国際日本学共同研究部門」後援

イメージ文化史

2012年12月14日(金)

【後援】早稲田大学高等研究所セミナーシリーズ【研究エリア〈比較文明史〉】
第2回シンポジウム

「西洋中世写本の世界——西欧とビザンティン——」

辻絵理子 「ビザンティン写本挿絵の諸相」

池田真弓 「西洋装飾写本——成り立ち・制作・研究アプローチについて」

* 早稲田大学高等研究所主催

2013年1月21日(月)

【後援】エル・グレコ没後400年記念公開シンポジウム

「エル・グレコ再考 1541—2014年：研究の現状と諸問題」

大高保二郎 「エル・グレコ像の変転と復権」

フェルナンド・マリーアス 「エル・グレコ神話を問う：画家の資料と著述を解読しながら」

益田朋幸 「エル・グレコとビザンティン美術」

越川倫明 「《燃え木を吹く少年》をめぐって——エル・グレコと同時代ヴェネツィア絵画——」

松井美智子 「エル・グレコとヴァザーリ——初期男性裸体素描の再検討を中心に——」

松原典子 「エル・グレコのパラゴーネ」

岡田裕成 「エル・グレコ、歴史意識、マニエラ」

* 早稲田大学美術史学会主催

スペイン大使館、日本スペイン協会、美術史学会、地中海学会、早稲田大学総合人文科学研究センター研究
部門「イメージ文化史」、朝日新聞社後援
鹿島美術財団助成

2013年5月28日(火)

【主催】公開講座「ナムジュン・パイクと電子の亡霊：阿部修也さんとパイク・アベ・シンセサイザーの夕べ」

橋本一径 「心霊写真 WS / レクチャーシリーズについて」

草原真知子 「ゴーストの系譜：ファンタスマゴリアからヴァーチャルリアリティまで」

齋藤理恵 「ナムジュン・パイクとビデオアートの身体性」

阿部修也 「ナムジュン・パイクについて」

(以上、発表)

阿部修也 「パイク・アベ・シンセサイザー デモンストレーション」

阿部修也+瀧健太郎 (ビデオシンセサイザー)、寒川晶子 (ピアノ)

「パイク・アベ・シンセサイザーと現代音楽によるパフォーマンス」

(以上、実演)

* 早稲田大学文化構想学部表象・メディア論系、早稲田大学川口芸術学校共催

2013年6月28日(金)

【主催】連続ワークショップ「マンガ的視覚体験をめぐって——フレーム、フィギュール、シュルレアリスム」

第1回「マンガ的時間、シュルレアリスムの時間」

伊藤剛 「描かれた『空間』——コマの並置と連続——」

鈴木雅雄 「瞬間は存在しない——フィギュールのパラドックス」

グローバル化社会における多元文化学構築

2012年10月18日(木)

【協賛】多元文化論系主催公開講演会

アレッサンドロ・ベナティ 「Key Issues in Second Language Acquisition and Key Implications for Second Language Teaching ——第二言語習得と教授法におけるポイント——」

* 早稲田大学文化構想学部多元文化論系主催

2012年11月17日(土)

【後援】多元文化論系主催公開講演会

リービ英雄 「越境文学の時代」

* 早稲田大学文化構想学部多元文化論系主催

2013年6月1日(土)

【共催】2013年度多元文化学会大会シンポジウム「グローバル化社会における地域文化の多様性」

ジェームス・マニー・バーダマン 「Americanization (and Globalization) of the Cajun People」

タニア・ホサイン 「English as a Global Language in Post-Colonial South-Asia: Perspective on Bangladesh」

村井誠人 「北欧(デンマーク)におけるグローバリゼーションとは」

* 多元文化学会主催

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

2013年7月20日(土)

【共催】公益社団法人日本モンゴル協会定例講演会

富川力道(バー・ボルドー)「日本とモンゴルの「相撲」文化について」

* 日本モンゴル協会主催

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

東アジアの人文知

2013年4月24日(水)

第1回部門会議 岡崎由美、千野拓政、鳥羽耕史、吉原浩人

2013年6月15日(土)～16日(日)

第1回国際中文系主任会議

*韓国漢陽大学で開催された本会議に、研究部門「東アジアの人文知」として参加(代表千野拓政)。併催された中国言語文化学会第14回国際学術研討会では、千野のほか早稲田大学大学院生2名(石ますみ、洪井君也)が学術報告を行った。

トランスナショナル社会と日本文化

2013年4月8日(月)

【主催】講演会「日タイ交流に関する遺跡について」

ソムチョート・オンサクル「日タイ交流史およびタイにおけるその遺跡」

2013年6月17日(月)

【共催】シンポジウム「アジアの水利問題と国家・社会 その2 日本中世の荘園空間と水利」

海老澤衷 「多層荘園記録システムにおける水利と地名」

貫井裕恵 「備中国新見荘史料の所在と年次比定」

土山祐之 「西方・金谷地区の水利と地名」

久下沼譲 「足立・上市地区の水利と地名」

大島創 「坂本・千屋地区の水利と地名」

飯分徹 「高瀬・釜村地区の水利と地名」

高橋敏子 「新見荘史料および新見荘域の水利と地名を考える」

*高等研究所研究エリア「比較文明史」との共催

2013年7月13日(土)

【共催】シンポジウム「アジアの水利問題と国家・社会 その3 中世村落の総合的復原研究
——備中国新見荘の歴史と水利——」

海老澤衷 「多層荘園記録システムの構築に向けて」

白石祐司 「新見市たたら再現事業の経緯」

似鳥雄一 「室町期の新見荘地頭職・地頭方と新見氏」

貫井裕恵 「中世後期における御影供執事役について」

大澤泉 「備中国新見荘の経営と地域社会」

宮崎肇 「新見荘田所職文書案をめぐって」

川戸貴史 「代銭納制再考」

清水克行 「室町期荘園における庄主群像」

酒井紀美 「中世在地社会と徳政」

高橋敏子 「中世百姓の身分意識」

高橋傑 「新見荘の下地中分と地頭方の空間構成について」

辰田芳雄 「新見荘三職・百姓等注進状に見る在地動向」

伊藤俊一 「応永末～寛正年間の水干害と荘園制」

海老澤衷、井上聡、清水亮、藤井勲

「新見荘の未来——共同研究とたたらへの伝承——」(パネルディスカッション)

* 高等研究所研究エリア「比較文明史」との共催

前近代東アジア世界における歴史・社会・文化の研究

2013年1月26日(土)

【後援】科学研究費基盤研究(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」
シンポジウム「中国古い文化の日本的展開」

水口幹記 「日本伝来の占いに関する書物」

工藤元男 「具注暦の淵源」

小林春樹 「五行占の日本の変容——天の信仰不在の日本における五行占——」

近藤浩之 「日本中世期における易學の受容と展開——桃源『百衲襖』と胡一桂『易學啓蒙翼傳』——」

山下克明 「宿曜道の特質と展開」

細井浩志 「コメント」

* 科学研究費基盤研究(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」(研究代表者: 新川登亀男) 主催

2013年9月28日(土)

【後援】科学研究費基盤研究(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」
シンポジウム「対敵と仏法」

大島幸代 「退敵の毘沙門天像と土地の靈験説話——唐後半期における像への眼差しの変遷——」

三上喜孝 「古代の境界世界における対敵と仏法」

長坂一郎 「羽黒権現・軍荼利明王の成立について——行者守護から異敵調伏へ——」

黒田智 「勝軍地蔵の八〇〇年」

長岡龍作 「『対敵』の精神と仏像の役割——古代日本の事例に着目して——」

* 科学研究費基盤研究(A)「文明移動としての『仏教』からみた東アジアの差異と共生の研究」(研究代表者: 新川登亀男) 主催

社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ

2013年4月27日(土)～28日(日)

【後援】公開シンポジウム「関東甲信越地方における中期／後期変動期
——4.3ka イベントに関する考古学的現象——」

安斎正人 「趣旨説明——完新世の気候変動と縄文文化の変化——」

工藤雄一郎 「縄文時代中期から後期の環境史と土器の年代」

吉川昌伸 「縄文中期から後期の植生史と人為的な生態系の形成」

千葉毅 「関東甲信越地方における称名寺式土器と加曾利EV式土器の混在の様相」

加納実 「中期末～後期初頭における東西関係について」

(以上、4月27日発表)

水沢教子 「信越地域における縄文中期中葉から後葉の東北系土器」

鈴木徳雄 「加曾利E式系土器の存在形態と変化」

綿田弘実 「中部高地における縄文中期後葉から後期前葉の土器変遷」

木下哲夫 「気屋式土器の終焉」

(以上、4月28日発表)

* 東北芸術工科大学公開シンポジウム『関東甲信越地方における中期／後期変動期』実行委員会主催
早稲田大学先史考古学研究所共催

東北芸術工科大学東北文化研究センター、早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「社会の複雑化・

階層化の史的パースペクティブ」、東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻環境民俗考古学研究室後援

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

2012年4月14日（土）

【主催】総合人文科学研究センター・キックオフ記念シンポジウム
「東日本大震災のいま——地域生活と再生に向けての課題——」
川副早央里、小宅幸一、浦野正樹、大矢根淳、吉川忠寛、秋吉恵

2013年7月3日（水）

【主催】〈現代の危機と共生社会〉研究部門2013年度第3回会議・研究例会
浅野幸子 「災害とジェンダー：課題の論点、国内外の動向と東日本大震災を契機とした取り組み状況」
村田晶子 「災害におけるジェンダー問題」

2013年7月31日（水）

【主催】〈現代の危機と共生社会〉研究部門2013年度第4回会議・研究例会
土屋耕平 「復興とコミュニティ形成——大槌町の事例から」

知の蓄積と活用に向けた方法論的研究

2013年7月24日（水）

第1回部門会議 坂上桂子、嶋崎尚子、山田真茂留

行動・社会・文化に関する多角的アプローチ研究部門

2013年5月30日（木）

【主催】2013年度第1回勉強会
竹村和久 「行動意思決定論と意思決定研究」

2013年6月26日（水）

【主催】2013年度第2回勉強会
井田佳祐 「漢字語の命名における形態——音韻対応の一貫性及び音・訓読の効果」
楠瀬悠 「語彙判断課題における仮名・漢字表記語の語長効果」

2013年7月18日（木）

【主催】2013年度第3回勉強会
中山真里子 「日英バイリンガルの音韻処理の単位はモーラ、それとも音素？」
杉田陽一 「生まれて初めて見る顔」